

## 通知表について

子供の成長には、学校と家庭の協力が不可欠です。そこで、「通知表」は、子供たちの学校での学習や生活の様子を家庭に伝え、一人一人の健全な成長のために学校と家庭が協力して取り組んでいきたいという思いから作成しています。職員一同、子供の長所や個性を伸ばすように心掛け、励ましていきたいと考えています。

## 通知表の見方

### ○学習内容の評価

各教科の評価事項は、到達度で評価してあります。到達状況が「十分に満足できる」ものには「◎」、「おおむね満足できる」ものには「○」、「努力を要する」ものには、「△」の印を評価の欄に表記しています。この評価は、他の子供と比較したものではなく、基準に到達しているかという観点で判断しています。1年生の上期のみ「おおむね満足できる：○」「努力を要する：△」の2段階評価になります。

なお、評価項目は、各教科とも「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学びに向かう態度」の3つの項目に集約しています。各単元の到達状況は、単元の終了時に実施しているテスト及び長期休業前に配付する「学習のあゆみ」でご確認ください。

知識・技能・・・・・・・・知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。

思考・判断・表現・・・・・・・・各教科の知識・技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力・判断力・表現力を身に付けているかを評価します。

主体的に学びに向かう態度・・「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力」を身に付けることに向けて、自らの目標をもって努力する態度、粘り強く最後まで取り組もうとする態度を評価します。

### ○行動の記録

項目ごとに、行動のめあてに照らして十分に満足できる状況にあるものには「○」を付けています。

### ○特別の教科 道徳

「特別の教科 道徳」の学習を通じて現れる、子供の心や態度面等の成長について文章で表現しています。

### ○総合的な学習の時間（3年生以上）

「総合的な学習の時間」の学習では、学年ごとの共通のテーマのもと、子供たちが学んだことを手がかりに自分たちで課題を決め、各教科で学んだことを生かして、自分たちでその課題を解決していくという一連の学習活動を行います。子供たちがどのような活動を行い、どのような学びをしたのかを文章で表現しています。

### ○外国語活動（3・4年生）、外国語科（5・6年生）

3・4年生では「外国語活動」として学期ごとに子供一人一人がどのような活動を行ったのかを文章で表現しています。5・6年生では「外国語科」として教科の評価項目に位置づけています。

### ○「家庭から学校へ」の欄

この欄には、子供さんの家庭での様子や期待すること、学校に伝えたいことなど、保護者の方が記入されてください。表紙に印鑑またはサインしたものを提出いただきますようお願いいたします。